

メルシーますみ 三月  
「もう春がそこに」コンサート

(オカリナ演奏)

① 恋のバカンス

② 夜明けのスキヤット

どこかで春が (大正十二年)

作詞・百田宗治 作曲・草川信

どこかで「春」が 生まれてる

どこかで水が 流れ出す

どこかで雲雀(ひばり)が

啼(な)いている

どこかで芽(め)の出る 音がする

山の三月(さんがつ) 東風(こち)吹いて

どこかで「春」が うまれてる



花 (明治三十三年)

作詞・武島羽衣 作曲者・滝廉太郎

春のうららの 隅田川(すみだがわ)  
のぼりくだりの 船人が

權(かい)のしずくも 花と散る

ながめを何に たとうべき

見ずやあけぼの 露(つゆ)あびて  
われにも言う 桜木(さくらぎ)を  
見ずや夕ぐれ手をのべて  
われさしまねく 青柳(あおやぎ)を

うれしいひな祭り (昭和十一年)

作詞・サトウハチロー 作曲・河村光陽

あかりをつけましょ ぼんぼりに

お花をあげましょ 桃の花

五人ばやしの 笛太鼓(ふえたいこ)

今日はたのしい ひな祭り

お内裏様(だいりさま)と おひな様

二人ならんで すまし顔(がお)

お嫁(よめ)にいらした 姉(ねえ)様に

よく似(に)いた官女(かんじよ)の 白い顔

金のびょうぶに うつる灯(ひ)を

かすかにゆする 春の風

すこし白酒(しろさけ) めされたか

あかいお顔の 右大臣(うだいじん)



北国の春 (昭和六年)

作詞・島田芳文 作曲・古賀政男

白樺(しらかば) 青空 南風

こぶし咲くあの丘 北国の

ああ 北国の春

季節が都会ではわからないだろうと

届いたおふくろの小さな包み

あの故郷(ふるさと)へ帰ろかな 帰ろかな

雪どけ せせらぎ 丸木橋(まるきばし)

落葉松(からまつ)の芽がふく 北国の

ああ 北国の春

好きだとおたがいに言いだせないまま

別れてもう五年あの娘(こ)はどうしてる

あの故郷(ふるさと)へ帰ろかな 帰ろかな

故郷 (ふるさと) (大正三年)

作詞・高野辰之 作曲・岡野貞一

兎(うさぎ)追いし かの山

小鮒(こぶな)釣りし かの川

夢は今も めぐりて、

忘れがたき 故郷(ふるさと)

如何(いか)に在(い)ます 父母

恙(つつ)がなしや 友がき

雨に風に つけても

思い出(い)ずる 故郷

(最後二行 繰り返し)

